

令和3年度使用  
中学校用教科用図書  
採択参考資料

保健体育

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	保体 701
4 大日本	保体 702
50 大修館	保体 703
224 学研	保体 704



# 保健体育

## I 教科用図書の調査研究に当たって

### 1 調査対象教科用図書

2 東書      4 大日本      50 大修館      224 学研

### 2 調査研究の観点

- (1) 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 心身の発達段階に適応した健康の課題や体育に関する科学的知識等が取り上げられており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 内容の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 挿絵、写真、図表等が適切であり、健康や安全、体育への関心を高め、課題の解決に役立つよう配慮されているか。

### 3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

## II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…………… 観点(1) (2) (3) (4)
  - ①教科用図書名・サイズ
  - ②単元の構成
  - ③デジタル教材へのアクセス
  - ④ユニバーサルデザインに関する配慮について
- (2) 課題をつかむ導入や課題の配列に関する事…………… 観点(1)
- (3) 個人生活に関わる課題と生活経験等に基づいた言語活動の取扱いに関する事…………… 観点(2)
- (4) 他領域・他教科等との関連や発展的な学習の取扱いに関する事…………… 観点(3)
- (5) 健康や運動・スポーツへの関心、課題の解決につながる資料に関する事…………… 観点(4)

1 概括的な調査研究

(1) 教科用図書名・サイズ 「中学保健体育」 A4判 191ページ

(2) 単元の構成

分野	学習指導要領の内容	題材数	ページ数	写真(枚)	表グラフ(個)	対話的な学習	学びの活用	発展学習
保健分野	健康な生活と病気の予防	21	49	16	74	6	20	5
	心身の機能の発達と心の健康	10	27	3	26	4	9	3
	傷害の防止	8	27	45	23	2	6	3
	健康と環境	5	17	8	36	3	6	3
体育分野	運動やスポーツの多様性	3	9	29	3	2	6	0
	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	3	13	2	9	2	4	0
	文化としてのスポーツの意義	3	9	21	5	2	4	1

※ページ数は、中表紙や単元全体の振り返りのページを除いている。

※「対話的な学習」は、「説明してみましよう」「話し合ってみましよう」「意見を出し合ってみましよう」の箇所数。

※「学びの活用」は、「広げる」の箇所数。

※「発展学習」は、「発展」の項目数。

(3) デジタル教材へのアクセス

- QRコードが巻頭の「Dマークコンテンツ内容一覧」に掲載されており、インターネットにアクセスして、情報を得ることができるようになっている。
- 「Dマーク」のコンテンツには、動画やシミュレーション、他教科リンクが掲載されている。

(4) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

2 課題をつかむ導入や課題の配列に関すること

- 各単元の始めに、何を、どのように学ぶかについて説明されている。
- 題材の始めに、「～でしょうか」という表現で学習課題が記載されている。
- 各時間の導入として、「見つける」の活動が設定され、学習のキーワードが記載されている。
- 各時間の学習が、「見つける」「課題の解決」「広げる」の学習過程になっている。
- 各章の終わりに、「学習のまとめ」が、「確認の問題」「活用の問題」「日常生活に生かそう」の流れで設定されている。

**3 個人生活に関わる課題と生活経験等に基づいた言語活動の取扱いに関すること**

- 「見つける」「活用する」「広げる」で、言語活動を含む学習活動が示されている。
- 学習内容に応じて、学んだ知識等を活用し、他者に説明したり他者と話し合ったりする「活用する」の活動が設けられている。

**4 他領域・他教科等との関連や発展的な学習の取扱いに関すること**

- 各章の始めでは、その章の学習に関連する小学校と高校の学習する内容が示されている。
- 各章の始めでは、道徳科の各内容項目との関連が示されている。
- 各章末での「学習のまとめ」は、知識の習得状況の確認や日常生活に生かすための問いが記載されている。
- マークで、他教科の各内容項目との関連が示されている。
- 教科書内に関連する学習内容がある場合には、マークで示されている。
- 「ポイント」のマークで、資料を読み取る視点が示されている。
- 各題材の最後にある「広げる」では、学んだことを活用できる課題が設定されている。
- 発展的な学習内容が、「発展」「章末資料」や「読み物」として掲載されている。
- 「実習」で、リラクセーション法、直接圧迫止血法、包帯法、心肺蘇生法、AEDについて取り上げられている。

**5 健康や運動・スポーツへの関心、課題の解決につながる資料に関すること**

- 読み物資料として、健康や運動・スポーツに関わる内容の資料が示されている。
- 運動・スポーツの関わり方について、国際的な写真やエピソードを用いて紹介されている。
- 個に応じた学習内容の広げ方として、「読み物」が記載されている。
- 学習の手立てとして、キャラクター「クール」と「コール」が登場している。
- 「キーワードの解説」として、学習で必要となる用語の解説が示されている。

1 概括的な調査研究

(1) 教科用図書名・サイズ 「中学保健体育」 A4判 171ページ

(2) 単元の構成

分野	学習指導要領の内容	題材数	ページ数	写真(枚)	表グラフ(個)	対話的な学習	学びの活用	発展学習
保健分野	健康な生活と病気の予防	17	41	59	39	12	17	2
	心身の機能の発達と心の健康	9	22	10	26	4	9	3
	傷害の防止	8	26	47	16	3	7	2
	健康と環境	6	15	13	25	4	6	5
体育分野	運動やスポーツの多様性	3	9	15	1	3	3	0
	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	3	13	9	1	2	3	1
	文化としてのスポーツの意義	3	8	22	3	2	3	0

※ページ数は、中表紙や単元全体の振り返りのページを除いている。

※「対話的な学習」は、「話し合ってみよう」の箇所数。

※「学びの活用」は、「活用して深めよう」の箇所数。

※「発展学習」は、「発展」の項目数。

(3) デジタル教材へのアクセス

- QRコードが巻頭の「中学校保健体育WEB」に掲載されており、インターネットにアクセスして、情報を得ることができるようになっている。
- 「中学校保健体育WEB」には、動画や画像等のデジタル教材、学習内容に関する内容が掲載されている。

(4) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

2 課題をつかむ導入や課題の配列に関すること

- 各単元の始めに、何を、どのように学ぶかについて説明されている。
- 題材の始めに、「学習のねらい」が記載されている。
- 各時間の導入として「つかもう」の活動が設定され、学習のキーワードが記載されている。
- 各時間の学習が、「つかもう」「やってみよう」「活用して深めよう」の学習過程になっている。
- 各学習の時間が、本文と資料のページが分かれて記載されている。
- 各章の終わりに、「まとめの問題」が、「中学校保健体育WEB」で設定されている。

**3 個人生活に関わる課題と生活経験等に基づいた言語活動の取扱いに関すること**

- 「話し合ってみよう」で、言語活動を含む学習活動が示されている。
- 各章の終わりの「学びを活かそう」では、記入欄が設けられており、自己の考えを深めたり、仲間と意見交換をしたりする活動が設定されている。
- 「学びを活かそう」では、自己の考えを深めたり、仲間と意見交換ができたりする活動が設定されている。

**4 他領域・他教科等との関連や発展的な学習の取扱いに関すること**

- 各章の始めでは、小学校で学習したことや高校で学習する内容が示されている。
- 「リンク」「他教科」で関連した内容を学習するページが示されている。
- 「家」「地域」マークで、家庭や地域における健康や安全に関連した内容が記載されている。
- 各章の終わりに「章末資料」として、学習内容に関連する資料が記載されている。
- 巻末では、「高校生活に向けて」の目標が書き込めるようになっている。
- 発展的な学習内容として、「発展」「トピックス」で読み物や写真や図・表などの資料が示されている。
- 「実習」で、リラクゼーション法、心肺蘇生法、止血をするための応急手当、外傷の応急手当が取り上げられている。

**5 健康や運動・スポーツへの関心、課題の解決につながる資料に関すること**

- 読み物資料として、健康や運動・スポーツに関わる内容の資料が示されている。
- 運動・スポーツの関わり方について、国際的な写真やエピソードを用いて紹介されている。
- 課題解決学習への繋がりとして、資料ページをまとめて掲載されている。
- 個に応じた学習内容の広げ方として、「ミニ知識」「発展」が記載されている。
- 学習内容に関連した情報として、「ミニ知識」や「トピックス」が掲載されている。
- 「重要な言葉」として、各章の学習内容と関連した用語の解説が示されている。

1 概括的な調査研究

(1) 教科用図書名・サイズ 「中学保健体育」 A4判 191ページ

(2) 単元の構成

分野	学習指導要領の内容	題材数	ページ数	写真(枚)	表グラフ(個)	対話的な学習	学びの活用	発展学習
保健分野	健康な生活と病気の予防	20	44	57	62	7	20	8
	心身の機能の発達と心の健康	12	26	12	22	4	11	2
	傷害の防止	8	20	21	13	6	8	2
	健康と環境	8	18	29	18	3	8	3
体育分野	運動やスポーツの多様性	3	8	29	0	2	3	0
	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	3	12	14	14	3	3	2
	文化としてのスポーツの意義	3	8	30	1	2	3	0

※ページ数は、中表紙や単元全体の振り返りのページを除いている。

※「対話的な学習」は、「意見を出そう」「話しあおう」の箇所数。

※「学びの活用」は、「学習のまとめ」の箇所数。

※「発展学習」は、「発展」の項目数。

(3) デジタル教材へのアクセス

- QRコードが巻頭の「web 保体情報館」に掲載されており、インターネットにアクセスして、情報を得ることができるようになっている。
- 「web 保体情報館」には、動画や画像等のデジタル教材、学習内容に関する内容が掲載されている。

(4) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

2 課題をつかむ導入や課題の配列に関すること

- 各単元の始めに、何を、どのように学ぶかについて説明されている。
- 題材の始めに、「きょうの学習」で学習目標とキーワードが記載されている。
- 各時間の導入として「課題をつかむ」の活動が設定され、学習課題を確認できるよう設定されている。
- 各時間の学習が、「課題をつかむ」、本文で大切なことの確認、「学習のまとめ」の学習過程になっている。
- 各章の終わりに、「章のまとめ」が、「知識・技能の確認問題」「思考・判断・表現の問題」「学びに向かって」「学習の振り返り」の流れで設定されている。

**3 個人生活に関わる課題と生活経験等に基づいた言語活動の取扱いに関すること**

- 「課題をつかむ」、「学習のまとめ」で言語活動を含む学習内容が示されている。
- 「コラム」「事例」で、生活に関連した情報を提供する読み物として記載されている。
- 各題材の終わりに、「学習のまとめ」があり、学んだことを活かして話し合い活動や、自己の考えを深める活動が設定されている。
- 学びを深める活動として、グループで話し合ったり、発表したりする課題が設定されている。

**4 他領域・他教科等との関連や発展的な学習の取扱いに関すること**

- 各章の始めでは、小学校で学習したことや高校で学習する内容が示されている。
- 各章の始めでは、学習内容と関連の深い写真やメッセージが掲載されている。
- 「関連」や「他教科」で関連する学習内容や他教科の学習内容が示されている。
- 資料の大事なポイントが、「よみ取る」で示されている。
- 「ほり下げる」では、本文中の言葉や内容の説明が記載されている。
- 「保健の窓」「体育の窓」では、学習内容と関連した資料が掲載されている。
- 発展的な学習内容として、「発展」で読み物資料が、「特集資料」で写真や図・表などの資料が示されている。
- 「実習」で、リラクセーション、心肺蘇生法、きずの手当てが体を動かして身に付ける学習として写真とイラストで取り上げられている。

**5 健康や運動・スポーツへの関心、課題の解決につながる資料に関すること**

- 読み物資料として、健康や運動・スポーツに関わる内容の資料が示されている。
- 運動・スポーツの関わり方について、国際的な写真やエピソードを用いて紹介されている。
- 個に応じた学習内容の広げ方として、「ほり下げる」が記載されている。
- 学習した内容を広げ深めるために「クローズアップ」「特集資料」が設定されている。
- 「用語解説」として、学習で必要となる用語の解説が示されている。

1 概括的な調査研究

(1) 教科用図書名・サイズ 「中学保健体育」 A4判 200ページ

(2) 単元の構成

分野	学習指導要領の内容	題材数	ページ数	写真(枚)	表グラフ(個)	対話的な学習	学びの活用	発展学習
保健分野	健康な生活と病気の予防	14	47	50	38	18	17	8
	心身の機能の発達と心の健康	8	24	10	18	5	8	0
	傷害の防止	6	24	52	26	7	5	5
	健康と環境	7	16	9	19	6	7	0
体育分野	運動やスポーツの多様性	3	9	21	0	1	3	0
	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	3	9	10	3	2	3	0
	文化としてのスポーツの意義	3	11	38	1	4	3	0

※ページ数は、中表紙や単元全体の振り返りのページを除いている。

※「対話的な学習」は、「話し合う」「意見を出し合う」「説明する」の箇所数。

※「学びの活用」は、「まとめる・深める」の箇所数。

※「発展学習」は、「発展」の項目数。

(3) デジタル教材へのアクセス

- QRコードが巻頭に掲載されており、「教科書サイト」にアクセスして、情報を得ることができるようになっている。
- 「教科書サイト」には、動画や画像等のデジタル教材、学習内容に関する内容が掲載されている。

(4) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

2 課題をつかむ導入や課題の配列に関すること

- 各単元の始めに、何を、どのように学ぶかについて説明されている。
- 題材の始めに、「学習の目標」と「キーワード」が記載されている。
- 各時間の導入として「課題をつかむ」の活動が設定され、学習課題を確認できるよう設定されている。
- 各時間の学習が、「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」の学習過程になっている。
- 各章の終わりに、「章のまとめ」が、「振り返ろう」「確かめよう」「生かそう」の流れで設定されている。

**3 個人生活に関わる課題と生活経験等に基づいた言語活動の取扱いに関すること**

- 「言語」「協働」で、言語活動を含む学習活動が示されている。
- 学習内容に応じて、健康課題について相談したり、発表したりする活動として「話し合う」「意見を出し合う」「説明する」の活動が設定されている。
- 各単元の終わりの「まとめる・深める」では、言語活動ができるよう設定されている。

**4 他領域・他教科等との関連や発展的な学習の取扱いに関すること**

- 各章の始めでは、小学校で学習したことや高校で学習する内容が示されている。
- 各章の始めには、学習内容と関連の深い専門家からのメッセージが掲載されている。
- 「キーワードで見る保健体育の学習内容」「関連」で、キーワードごとに他教科や他領域と関連できるよう示されている。
- 「JOB」では、学習内容に関連する職業が紹介されている。
- 「もっと広げる深める」「探究しようよ!」では、学習内容に関連した資料や発展的な内容が記載されている。
- 「章のまとめ」において、「生かそう」「生活への活用」では、学んだ知識が実践的に活用できるよう設定されている。
- 発展的な学習内容として、「発展」で読み物資料が掲載されている。
- 「実習」で、リラクゼーション法、心肺蘇生法、きずの手当てが取り上げられている。

**5 健康や運動・スポーツへの関心、課題の解決につながる資料に関すること**

- 読み物資料として、健康や運動・スポーツに関わる内容の資料が示されている。
- 運動・スポーツの関わり方について、国際的な写真やエピソードを用いて紹介されている。
- 「保健体育と情報」や「コラム」で学習内容に関する図や資料が取り上げられている。
- 個に応じた学習内容の広げ方として、「情報サプリ」が記載されている。
- 学習の手立てとして、キャラクター「ウィズ」が登場している。
- 「キーワードで見る保健体育の学習内容」として、学習内容と関連した知識や情報が示されている。

